

今月の野鳥

2014年10月

今年の夏は、愛媛に行くことができました。北海道とは違う気候や文化に触れることができ、貴重な経験をすることができました。松山城の濠でマガモを見られました。30度近い暑さの中でしたが、水の中にいて気持ちよさそうでした。

9月の初めに、和琴半島を1周してきました。和琴半島はミンミンゼミの北限の地で、天気も良かったので、たくさんの声を聞くことができました。帰ってくると私の家の周りには秋の虫が鳴いています。一気に季節が変わったのを実感した瞬間でした。

ヒシクイ（カモ目カモ科）

Anser fabalis

☆全長 85cm

冬鳥として渡来するが局地的で、東北地方北部以北では旅鳥。湖沼、池、水田、湿地などに生息する。くちばしが黒く、先が橙色みのある黄色で、先端が黒いのが特徴である。

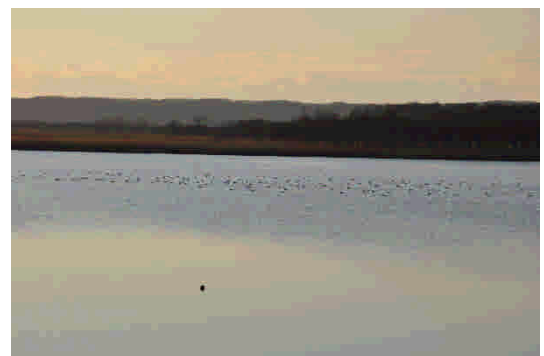
カモ目カモ科には、カモ類、ガン類、ハクチョウ類があるが、一番首長いのがハクチョウ類で、次に長いのがガン類、一番短いのがカモ類と形で見分けることができます。釧路地方ではシラルトロ湖などにヒシクイが春や秋の渡りの時期に見られます。また、美唄の宮島沼ではマガンが数千羽見られることができます。このように、太平洋側と日本海側では渡ってくるガン類が違います。

シラルトロ湖では、9月ごろから徐々に増え始め10月下旬から11月上旬にかけてピークを迎え、数百羽のヒシクイを見ることができます。時折、違う種類のガンも迷ってくるので、そういうガンを探すのは楽しいです。

ちなみに、10年ほど前に住んでいた浦幌町では毎年10羽ほどのハクガンが渡ってきていました。今では、かなり多くわたるようになったそうです。



2011年10月
シラルトロ湖



2011年11月
シラルトロ湖